



ぽっかぽか

りす組

今年は異常気象の影響で外気温が高い日が続きました。プールできるかなあ～という日もありましたが、早めの時間に入ったり、シャワーだけにするなど工夫をしながら活動をしてきました。今回は子どもたちと水遊びについてご紹介したいと思います。



【水に親しむ】

水に慣れたら次は水に親しむ。つまり水で楽しんで遊べます。スコップですくったり、容器を使って出し入れしたり、水面をバシャバシャ叩いてしぶきを体や顔に受けて大はしゃぎ！時には水風船を作って感触を楽しんだり、沢山の歓声と笑顔を見ることができました♪

さらに、テラスではヒマワリと朝顔、フウセンカズラをプランターで育てていたのので、水遊びをしながらお水をあげたり、朝顔の花で色水を作りもしました。フウセンカズラを割いて中の種を見つけると「これなに？」「種だよ」「おまめみたい」「おまめは食べるけど、種は食べないね」といった会話をしたり、フウセンカズラをタライに浮かばせて、水に沈んだ種を見比べて「浮かぶ」と「沈む」を知るきっかけにもなりました。

【水に慣れる】

はじめは、水に慣れるところから。「シャワーかけるよ～」と声をかけて足や手から濡らしていきます。シャワーの勢いが苦手な子には容器にすくった水を優しくかけたり、本人の近くに水をすくった洗面器をおいて自分から遊びだすのを待つこともありました。無理をせず様子をみながら進めて、今では全員がタライに入って遊んでいます。「あめだ～！！」と大人が上からサーッとシャワーを降らせると「キャー！」と喜び子、「もう一回！」と催促する子もいます！中には「雨やらないで」「頭はやらないで」と言葉で大人に伝えてくれる子もいて、水遊びの場面でも言葉がどんどん増えてるなと感じます。

【こんなに成長！】

それ以外にも「こんなに成長したんだな～」と担任で話題になるのが準備と着替えです。水遊びの着替えセットを自分のマークを見て探し、それを着替え用のかごに入れて洗濯ばさみをつけるのも自分たちで！低月齢の子も自分でやる！という意識が育ってきて、自分で引き下げたシャツから頭をだす度に「ばあ！」と笑顔で着替えています。高月齢の子たちはズボンの脱ぎ履きが自分で出来てきたので、シャツの脱ぎ着を自分で出来るように大人のお手伝いは最小限にして笑顔で励ましながら進めています。

例年ですと8月末で水遊びは終了ですが、今年は暑さが続きそうなので9月に入ってから水遊びやシャワーは続けたいと思います。お手数をおかけしますが、引き続き水遊びセットのご用意をお願いいたします。



9月16日（土）は保護者会です

詳しくは園だよりをご覧ください。お父さん・お母さん揃ってのご参加も大歓迎！ぜひお越しください(^^)♪